

山岳博物館と ベルンドルフ



ハヤチネウスユキソウ



エーデルワイス

～花が紡いだ60年のあゆみ～



山岳博物館 風見熊



友好都市締結記念式典パレード 1965年10月12日



NORDOST-STRASSENANSICHT

セルマ・ラストフカ 山岳博物館設計図写し



大迫町立山岳博物館



大迫町立山岳博物館 展示室 ベルンドルフ記念品



花巻市総合文化財センター常設展示室内 山岳博物館

2025年 **4/26**(土)

～ **7/6**(日)

9:00～16:30 会期中無休



花巻市総合文化財センター

028-3203 岩手県花巻市大迫町大迫3-39-1 TEL 0198-29-4567

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

入館料 大人200円 小中高生100円 (花巻市内の小中高生無料)



山岳博物館とベルンドルフ

花が紡いだ60年のあゆみ



ハヤチネウスユキソウ



友好都市締結記念式典（1965年10月12日）



エーデルワイス



ベルンドルフまちなみ（1997年）



大迫町まちなみ（1959年）



山岳博物館落成開館式（1971年3月20日）



セルマ・ラストフカ肖像画



オーストリア
親善登山隊
ピッケル



友好都市
締結20周年
記念品
ワイン樽



友好都市
締結25周年
記念品 絵皿

夢のような話から、文化交流の意味で、大迫に似た山の町で古い文化の豊かなところと姉妹都市提携ができた。岩手県の小さな町・大迫町の国際交流は、これを機に動き出し、一九六五（昭和四〇）年に友好都市締結。その六年後に、山岳博物館は完成します。オーストリアの民家風の建物は、ベルンドルフの女性建築技師セルマ・ラストフカと大迫の職人の手により生まれ、姉妹友好を記念したモニュメントとなりました。山岳博物館は、老朽化により平成二十三年に取り壊されましたが、旧蔵資料は、同じ敷地内に建設された花巻市総合文化財センターへ移管されています。今年、友好都市締結から六〇年。収蔵資料等から、山岳博物館と国際交流の軌跡を紹介します。

大迫町長・村田柴太は、一九六二（昭和三七）年七月号の「広報おほさま」から『町長日誌』を執筆、掲載しています。毎月の印象的な事例のあった日を選び、町政の様々な出来事を書き残していますが、この中には、大迫町とオーストリア共和国ベルンドルフ市との交流のいきさつについても記されています。

一九六二（昭和三七）年夏、国体県予選の登山競技が早池峰山で行われ、県山岳協会の村井正衛・理事長と村田柴太・大迫町長が歓談。次のような話をしたといっています。

「ハヤチネウスユキソウが、アルプス山脈の名花で有名なエーデルワイスと植物学的に姉妹であるので、この花を対面させて見たい」

花巻市総合文化財センター

〒028-3203 岩手県花巻市大迫町大迫3-39-1 TEL 0198-29-4567

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

入館料 大人200円 小中高生100円 (花巻市内の小中高生無料)

